

《予約制乗合タクシー》の一層の活用を!



本紙でも何回かご案内のとおり、当津房地区では、従来のコミュニティバスよりも利便性を高めた公共交通手段として、《予約制乗合タクシー》が週に1便運行されています。

ことし1月からは、津房地区を運行する3路線の運行経路に深見と佐田の一部集落を加え、ほぼ正式運行の方式で運行されるようになりました。

市より提供された実績データに依れば、徐々にご利用者も増えていますが、更なる普及、定着を図るため、改めてご案内します

- ・運行日; 毎週 木曜日 往路は津房発9:00ごろ、復路は安心院発12:00ごろ
- ・利用者は前日の17:00までに電話で行先を告げて予約します
- ・当日はご利用者の自宅門口まで送迎してくれます(バス停まで行かずに済む)
- ・利用料金: 実証運行中は実質100円(片道当たり)
- ・利用できるひとの条件があり、また、予め利用登録をしておく必要が

*すでに利用登録をされた方の奮ってのご利用を呼びかけしますとともに、安心院中心部への通院や買い物のための交通手段でご不自由されている方は、下記へお気軽にお問い合わせ下さい。

宇佐市・総合政策課 ☎(0978)-27-8239 または
津房地区まちづくり協議会・事務局員 ☎(0978)-48-2001

宮崎市(清武地区)から視察来訪

去る7月21日、宮崎市の「清武地域まちづくり協議会」の中山和朗会長さんを団長とする10名の役員さんご一行が当協議会の視察に来られました。

清武地域は宮崎市郊外の平たん地という好立地ながら、ご多分に洩れず、住民の高齢化と人工減少に伴う諸課題が生じ始めたことから、コミュニティの力で「まちおこし」をと、14年前に協議会を設立、活発に活動をされてきた経歴を有しています。

今回は、同様な活動を行っている他団体の活動状況を視察し、永年に亘る活動を振り返り、次のステップを踏み出す際の参考にしたいとの趣旨でした。

菅原会長と事務局で当協議会の取り組み内容をご紹介したあとの意見交換会では、当協議事業の幾つかの事業に関する質疑応答のほか、役員の高齢化、次代を担う人材の発掘、事業のマンネリ化などの共通の課題についても活発な意見交流が為され、当方にも有意義な交流会でした。



交流会と集合写真

津房小4,5年生の田植え体験

津房小4,5年生の地球未来科への支援事業として、校地に隣接する水田で「もち米」栽培をすることにし、去る7月7日、その手始めとして児童による田植え体験作業を行いました。

1日先生役のフラワーうさ社長の菅原智史氏の指導のもと、昔ながらの“田植えひも”を使った手植えとしました。

殆どの児童が初体験のためどうなることかと心配でしたが、さすが伸び盛りの子どもたち、すぐに要領を覚え、短時間で

幅50メートル、15列ほどを植え終わりました。秋の稲刈り体験、収穫米を使っの餅つきイベントが楽しみです。

← 1日先生と担任先生から作業要領の説明 ✓ 初めての田植え体験



津房ふれあい大運動会

9月17日(日)
開会 8:30

津房っ子の応援に、ご無沙汰の知人、友人との旧交を温めに大勢ご参加を!

安心院町6年生交流会

町内4小学校の6年生は来春4月に揃って安心院中学校に入学しますが、事前に各校児童が「顔なじみ」になり、中学校での合流がスムーズに運ばばと、7月27日に6年生有志を対象にした交流会を開催しました。(4地区のまちづくり協議会の共同事業)

津房小からの6名を含めて計16人の児童の参加で、地域交流センター(旧深見中学校)体育館での体育とゲームを兼ねたレクレーションに始まり、釜ノ口湧水でのソーメン流し(釜ノ口集落のみなさんの全面的ご協力)で昼食、午後はマイクロバスで津房の地獄極楽と東椎屋の滝探訪ツアー、仕上げは地域交流センターに戻っての焼肉パーティと、盛りだくさんのメニューで親交を育む場づくりとしました。



上: 釜ノ口湧水での美味しい流しソーメンで満腹
下: 東椎屋の滝壺を探訪

ご寄付のお知らせ

永田 知徳さん(楢本)より
「ご母堂 永田知恵子様(享年九十七歳)のご逝去に際しての香典返しの際として多額なるご寄付を頂戴いたしました。当協議会の実践活動費として活用させていただきます。ご意向にお応えして参ります。」

地区の中心地を花で飾り、行き交う人々に和んで頂こうと、六郎丸・信号機交差点から板場方面に向かう角地(休耕地)に、ペゴニア、サルビア、ブルーサルビアの三種の夏秋花、合わせて450本を植栽しました。

日々通行する地区民は勿論、ぶどう狩りや秋の行楽で市外から来られる皆さんをも癒してくれるものと期待しています。

当事業は津房地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会による地域環境整備事業の一環として行ったもので、費用について助成頂きました。

なお、トラクターによる耕耘、周囲の草刈り、防草マルチ張りの各作業では有志4人のご協力を頂き、また、植栽作業では新任の地域おこし協力隊の二人の加勢も得て仕上げる事が出来ました。本稿を借りて御礼申し上げます。



つぶさ花いっぱい運動

